



進路、地域だより

かけはし No. 1

発行：令和8年4月30日
横浜市立左近山特別支援学校
進路、地域部

ご入学・ご進級おめでとうございます

令和8年度が始まりました。お子様のご入学・ご進級おめでとうございます。
よりよい学校生活を送ることができるよう支援していきます。よろしくお願いいたします。



『かけはし』について

「進路、地域だより かけはし」では、進路・福祉・地域等に関する情報を保護者の皆様・地域の皆様・関係機関等の皆様に発信していきます。本校ホームページでもご覧いただけますので、ぜひご覧ください。

進路、地域部紹介

1年間よろしくおねがいます。

永野 和秀
(部長)

結城 亜希子
(専任特別支援教育コーディネーター)

高橋 雄太
(進路専任)

山村 祐子

神山 悠

太田佐和子

大橋 優衣

竹田 沙央里

特別支援教育コーディネーターに関する紹介は次頁に記載しています。

令和8年度保護者進路学習会・特別支援教育コーディネーター懇談会について

卒業後の進路に関する理解を深めることができるよう、今年度も保護者進路学習会を下記の内容で実施いたします。また、同日に特別支援教育コーディネーター懇談会を実施し、保護者の皆様同士でお話をする機会を設けたいと考えております。多くの皆様のご来校をお待ちしております。

日時	内容	担当講師
6月1日(月)11:15~11:45 11:45~12:15	【進路】高等部卒業後の進路についてパートⅠ	本校進路専任
	【懇談会】保護者座談会(グループディスカッション)	港南区自立支援協議会重心家族会
10月16日(金)10:00~11:00 11:00~12:00	【進路】高等部卒業後の進路についてパートⅡ	本校進路専任
	【懇談会】移動情報センターの役割と移動手手段	移動情報センター職員
12月17日(木)10:00~11:00 11:00~12:00	【懇談会】移行医療について	かながわ移行医療センター保護者
	【進路】卒業生の保護者の話	本校卒業生保護者

なお、実施日時や内容等については、講師の方のご都合等により変更になる場合があります。詳細につきましては、実施日が近くなりましたら、「すぐーる」にてお知らせします。

特別支援教育コーディネーターとは

特別支援教育コーディネーターは、ご家庭・医療・福祉・行政等の関係機関や地域との連絡調整を行い、よりよい支援につなげます。

《校内支援》

- 1 保護者の方からのご相談
 - (1) 児童生徒のライフスタイルに関すること
 - (2) 子育てに関すること
 - (3) 進路に関すること
 - (4) 福祉サービスに関すること等
- 2 学級担任への支援
 - (1) 児童生徒理解に関すること
 - (2) 授業づくりの支援等

《地域支援連携》

- 1 センターの機能（近隣小・中・高等学校等への支援）
 - (1) 児童生徒への対応や指導に関する相談
 - (2) 授業づくりに関する相談
 - (3) 教材、教具の相談や貸出し
 - (4) 放課後支援、通学支援などの福祉サービスに関する情報提供
 - (5) 特別支援教育に関する教員研修
 - (6) 児童生徒への障害理解教室等
- 2 学校見学
 - (1) 本校への転入学希望の方
 - (2) 地域や関係機関の方等
- 3 関係機関との連携
 - (1) 療育センター、放課後等デイサービス、計画相談等子どもを支援する事業所との連携に関すること
 - (2) 各区自立支援協議会への参加等

特別支援教育コーディネーターへの保護者の方からのご相談について

家庭生活や学校生活を送る中で、もっとこうだったら良いなと思うこと、困っていること、知りたいこと、なんでもお寄せください。校内でそれぞれの得意分野の教員と共に考えたり、地域の繋がりの中で相談機関を紹介したり一緒に解決方法を考えましょう。連絡帳を通して、直接学校へお電話で、送り迎えの折に声をかけていただいても構いません。お待ちしております。

特別支援教育コーディネーター 結城亜希子（専任）・吉川亜季・竹田沙央里
045-352-1580 ky-sakony-soudan@city.yokohama.jp

計画相談についてのお願い

- 計画相談支援にかかわる窓口は、特別支援教育コーディネーターとなります。
- ・相談支援事業所名、相談支援専門員の担当者名を、連絡帳等で学校へお知らせください。
 - ・モニタリング等で、事業所から直接学校への問い合わせをいただく場合、事前に保護者の方からも学校までお知らせください。
 - ・個別支援会議等教員の参加が必要な場合は、児童生徒担当、特別支援教育コーディネーター等が参加させていただきます。

ペットボトルキャップ回収について

泉区内に、障害のある方がペットボトルキャップを用いて仕事に取り組んでいる生活介護事業所があります。本校では、ペットボトルキャップを回収して事業所に提供させていただき取組を行っております。ご家庭にご不要なペットボトルキャップがありましたら、児童生徒を通して、本校にお持ちいただけたらと思います。年間を通じて取り組んでいます。ご協力をよろしくお願いいたします。